

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01 北海道
市区町村名	01458 東川町
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01458 東川町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えており、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	自治振興会や町内会との連携を深め、ボランティアの確保を増やし、放課後における宿題の見守り等の学習支援の実施日数を前年度より上回るようにした。	自治振興会や町内会との連携を深め、ボランティアの確保を増やし、放課後における宿題の見守り等の学習支援の実施日数を前年度より上回るようにする。	学校以外で日常的に学習を行う児童生徒を増やす。	週に4時間以上、学校以外で勉強する児童生徒の割合(東川町教育委員会のアンケート調査)	35	%	40	40	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 ・教育委員会独自で実施した学習習慣アンケートにより週4時間以上を学校以外で学習する児童生徒の割合が目標値40%であった。 ・地域との連携によりボランティアの確保に注力したことにより、前年度よりボランティア登録人数が増加した。	https://higashikawa-town.jp/portal/top/information/1068
01458 東川町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	放課後等に多様な体験活動をさせることが望ましいと思いつつも、多忙な日々を過ごす児童生徒にとって、なかなか参加できないことが家庭の共通の課題となっている。	多忙な日々を過ごす児童生徒であっても、その隙間に学校授業の内容以外で、興味関心のあることに触れ親しむ機会を参加しやすい条件で提供した。	少年団活動や文化活動団体と連携し、休日や放課後等で、子ども達が普段経験できない活動を提供することで多様な経験を創出する。	土曜日の多様な体験活動講座に参加する児童生徒を増やす。	講座の参加人数	25	人	35	50	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて効果的な成果が見られた。 ・土曜日親子科学教室を実施し、R6度に計9回実施し、参加者合計は50名となった。(児童生徒数35名・保護者15名) ・参加者アンケートにより自然体験型プログラムの要望が多かったため、今後も開催を検討する。	https://higashikawa-town.jp/portal/top/information/1068